

# 埼玉英よみうり

2017年(平成29年)2月10日(第839号)月2回発行

## 鴻巣

### 作って食べて郷土を知る

#### 鴻巣南中 1年生がいがまんじゅう作りを体験



菊池さん(右から2人目)と作業をする生徒

鴻巣市立鴻巣南中学校「果の郷土料理・いがまんじゅう作り体験」(大澤武司校長)で「いがまんじゅう作り体験」

が2月1日に1年生の授業で行われました。その後、5つのグループに分かれ、まんじゅうを赤飯で包む作業を体験しました。赤飯で均一に包むのが難しく、大小様々な大きさの出来栄となりましたが、生徒たちは満足気な表情でした。

今回は、地元で和菓子店を営む菊池紀行さんの協力でいがまんじゅう作りの体験授業が行われました。最初に菊池さんが「まんじゅうを作る工程を」

「今は分かりやすいようにゆっくり作っているけれど、店では1時間に300個ほど作るスピードでやります。簡単に見える作業ほど実は難しく、技を取得するには」

また、渡部雄斗君と川島昂君は「世界中にいがまんじゅうが知られるといいです。自分で作ったのでより一層おもしろい」と感想を述べました。